



暑い日々が続いていますね。暑さに負けないように休息をとりながら、体調に気をつけて過ごしましょう。今月は夏に多い病気の伝染性膿痂疹(とびひ)と汗疹(あせも)についてのおはなしです。

でんせんせいのかんしん

伝染性膿痂疹 (とびひ)

とびひは、虫刺されや湿疹、あせもなどをかきむしってできた浅い小さな傷に、「黄色ブドウ球菌」や「レンサ球菌」などが感染して起こる病気です。

水泡ができ、その水泡が破れて、皮膚のあちこちにうつって広がります。水泡や膿疱の中には、原因菌や毒素が多く入り、ひっかいた手で他の場所を触ると、そこに原因菌が付着し、まさに“飛び火”のように広がっていくことから、このような名前がつけました。

とびひは、汗をかいてあせもができたり、虫刺されが増える夏に流行しやすい病気です。感染力が強いので周りの人にも感染するため注意が必要です。早めに治療を開始すると早く治ります。

*患部を覆っていないと登園出来ません。

対処・予防

- ◎爪は短く切り、手を洗う習慣をつけましょう。
- ◎タオルなどの共用は避けましょう。
- ◎鼻の穴をいじった手で、傷を触らないようにしましょう。いじらないのが一番です。
(アトピー性皮膚炎の人は、特にスキンケアを日ごろから気をつけるようにしましょう。)



かんしん

汗疹 (あせも)

あせもは、大量の発汗に伴って、汗の正常な排出が妨げられることで起こる発疹です。かゆみのある赤く小さな発疹が、たくさん汗をかいた部位(首の周りやわきの下、肘・膝の裏など)に急速に現れます。

対処・予防

- ◎衣服や室温を調整し、涼しい環境で過ごしましょう。
- ◎シャワーをこまめに浴びるなど、皮膚を清潔に保ちましょう。
- ◎通気性や吸湿性がよく、肌あたりのよい木綿などの衣類を着用すると良いでしょう。
- ◎髪の毛がかかる額や首元はあせものできやすい部位なので、結ぶなどの工夫をしましょう。



8月の花といえば「向日葵」



明るく鮮やかな黄色い花が元気を与えてくれる植物ですね。様々な品種があり、小輪から大輪、一重咲きや八重咲きの品種など多種多様です。花言葉は「憧れ」「あなただけを見つめる」です。



登録は随時受け付けております。

登録や利用に関してご不明な点等ございましたらお気軽にお問合せ下さい。

令和4年8月